（様式２）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて |
| 日時 | 令和元年６月21日(金)　10:30　～　12:20 |
| 場所 | 大阪市役所　会議室 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：  上山特別顧問、宇都宮特別参与、横江特別参与  (職員等)：  　副首都推進局総務・企画担当部長、事業再編担当課長  大阪府政策企画部企画室副理事、政策課参事  大阪府総務部ＩＴ・業務改革課長  大阪府都市整備部事業管理室事業企画課参事、  交通道路室都市交通課長  大阪市ＩＣＴ戦略室企画担当課長、活用推進担当課長  大阪市都市計画局交通政策室長、交通政策課長、  開発調整部夢洲・咲洲地区開発担当課長  大阪市都市交通局バスネットワーク企画担当課長 |
| 論点 | 〇大阪におけるスマートシティについて |
| 主な意見 | * MaaSの中核を担うのは、鉄道・バスなどの公共交通であるが、MaaSの実現のためには、事業者同士の連携が欠かせない。連携を促進するため、行政が積極的にかかわっていくことが必要ではないか。 * 自動運転の実用化・普及を促すため、将来の「自動運転レーン」にもなり得る「バス専用レーン」の更なる拡充を検討してはどうか。 * 大阪市内は、坂が少ないこともあり、自転車利用が他都市に比して高いという調査もある。大阪のモビリティの特性を考えたときに、バイクシェアの普及も検討してはどうか。 |
| 結論 | 特別顧問・特別参与のご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。 |
| 説明等資料 |  |
| 備考 |  |
| 関係部局  （室課） | 政策企画部企画室計画課、総務部ＩＴ・業務改革課 |